

甲斐市総合計画審議会 第4回【要録】

日 時：平成27年11月2日(月)
午後1時30分～3時20分
場 所：竜王北部公民館4階 ホール
出席委員：【20名／25名】
※代理出席2名
欠席委員：石原委員、中井委員、中村委員
長倉委員、三井委員

1 開 会

2 第2次甲斐市総合計画基本計画（案）諮問

3 市長あいさつ

委員の皆様、お忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。日ごろから甲斐市の市政につきましてご指導ご鞭撻いただきましてこの場を借りてお礼申し上げます。

さて、総合計画審議会も4回目を迎えた所であります。さきほど第2次総合計画基本計画について諮問させていただきましたので、ご審議をお願いしたいと思います。

本日は、第2次甲斐市総合計画基本構想（案）について最終審議をお願いし、答申をお願い致します。この案により12月議会に提案する予定です。

また、これまでご議論いただいた甲斐市ひと・まち・しごと創生人口ビジョン及び甲斐市ひと・まち・しごと創生総合戦略を策定いたしましたので、ご報告させていただきます。

第2次甲斐市総合計画基本構想の実現に向けて第2次総合計画基本計画についてたくさんのご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

4 会長あいさつ

委員の方々には大変お忙しい中、また、お足元が悪い中お越しいただきありがとうございます。

今日は海外のことについて話させていただきます。中国経済の減速化が叫ばれています。鉄鉱石、石油、電力の価格低下が著しく、株価低下を引き起こし、公定歩合の引き下げが行われ、つい先日、人民元の実質的な切り下げが行われました。日本の輸出は中国への輸出が18%を占めているため、外需がこれから厳しくなる可能性があります。つまり日本の経済、地方の経済にも影響が出てくると予想されます。これらのことを考えると、ますます地域の資源を磨いていく、地域らしさを出していく、または、農業や観光など地域の総合力を出していくことが大事になってくると痛感しているところであります。

本日も活発な意見をよろしく願います。簡単ではありますが以上であいさつとさせていただきます。

(事務局)

本日は石原委員・中井委員・中村委員・田中委員・長倉委員・岩下委員・三井委員が欠席です。また、田中委員は代理で木村様・岩下委員は代理で井上様にご出席頂いています。また、市長は公務のため一時退室をさせていただきます、ご了承ください。

ここからは波木井会長の進行で進めさせていただきます。よろしく申し上げます。

(会長)

さきほど事務局から、5名の欠席の報告がありました。本日の審議会の委員出席は、過半数以上ですので、本審議会は成立し、会議を開くこととします。

5 案 件

(1) 第2次甲斐市総合計画基本構想(案)について

■資料に基づき事務局より説明

(立澤委員)

11ページ(3)の効率的かつ効果的という表記についてですが、効率的という語を用いるよりも効果的という語の前に有効的という語を付け足してはどうか。

(事務局)

効果的という語には有効的という意味も含まれていると思います。また、表記につきましては、あくまで今回の行政運営に関しては効率的にやり、かつ効果を出すという意味で効率・効果という表記を使用しております。効率という言葉は行政だけでなく日本の経済において意味のある言葉だと思いますので、効率的という言葉があってもいいかなと思います。

(功刀委員)

9ページの「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク型のまち」を目指します。という一文についてですが、これは都市機能を集約しあまり広大な行政面積を求めないというような考え方だったと思いますが、これを甲斐市でも目指していくということで間違いないでしょうか。

(事務局)

おっしゃるとおり、国の方でも進められている計画です。今回甲斐市でも都市計画で市街地を広域的に広げるのではなく、拠点となる市街地をコンパクトに集約し、かつ、ネットワークを整備することによって、よりコンパクトなまちづくりを推進するといった方向を考

えております。

(功刀委員)

という事はこの先、結構な施設整備というか、色んなことを市の方で、またしていくという考え方でよろしいでしょうか。

(事務局)

新たに大きな施設や道路を作るとかいうことではなく、既存のもの、これまでの旧3町の既存の施設等を拠点としたまちづくりを進めていくというものであります。

つまり、これから市街地を拡張していくのではなく、よりまとめていけたらなと我々は考えております。

(2) 第2次甲斐市総合計画基本構想の答申(案)について

(会長)

それでは、ご質問もないようですので、また基本構想案については、文言を加えるとかという修正はないと思いますので、以上で質疑応答を終了しまして、第2次甲斐市総合計画基本構想(案)につきましては、本審議会承認をするものとし、本案により答申を行いたいと思います。

第2次甲斐市総合計画基本構想の答申について事務局から説明をお願いします。

■事務局から答申案の説明

(会長)

ご質問や意見等、特にないようですので、この案を持ちまして答申をさせていただきます。なお、答申につきましては、本日の全ての案件終了後、市長に提出をしたいと思いますので事務局は答申書の作成をお願いします。よろしければ次に進みます。

(3) 第2次甲斐市総合計画基本計画(素案)について

■事務局より第2次甲斐市総合計画基本計画の素案について説明

3回に分けて審議をお願いし、今回は第1章と第2章について審議をお願いします。第1章について説明。

(大山委員)

小さなことですが2点ほどございます。まず一点、素案の8ページの(2)豊かな心の育成に郷土に対する理解とありますが、理解だけでなく、郷土に対する愛着や誇りを加えた方がよいのではないのでしょうか。また、もう一点は、13ページから14ページの今後の施策

の方向で、生涯学習や文化活動の推進ということで子どもだけではなく多くの世代で活動をするというものなのだと思いますが、まちづくりとの関係が見えてこないこの辺りの言葉を変えて欲しいなと思います。例えば地域の文化財を守っていく活動に繋げようといったような市民活動へ繋げていくように記述にするのはどうかと思いました。

(事務局)

部会の方に持ち帰って検討致します。

(会長)

13ページ・14ページの現状と課題の甲斐的文化の創造と発信について日本だけでなく外国にも情報の発信は必要だと思います。外国の方は観光ではなく地域に眠っている文化財への関心が高いと聞いているので外国への発信もぜひ。また、それを受けて14ページで(7)甲斐的文化の創造と発信の甲斐市の歴史や文化を知って頂くための外国語での冊子を作っていたらどうかと思います。

(事務局)

分かりました。

(会長)

2章についてもお願いします。

■事務局より第2章の説明。

(大山委員)

前の章に健康とスポーツということが書かれてありますが、この章にはスポーツ・レクリエーションの記述がありません。例えばですが、36ページの今後の施策との連携にスポーツ・レクリエーションとの加え、連携を図っていくというのはどうでしょうか。

(事務局)

既に36ページの(1)健康づくりの推進で「減塩による健康づくり」と「歩数マップによる健康づくり」という形で書かれてはいますが、より分かりやすくするため表記を加えたいと思います。

(立澤委員)

生涯学習か福祉かわかりませんが、どちらかといえば生涯学習についてであると思いますが、自主サークルで公民館活動をされていたり、地域でボランティア活動をされていたり

たりする元気な高齢者がたくさんいらっしゃいます。そうした元気な高齢者について、どこかで子どもと高齢者のふれあいの推進といった文章を加えていただきたい。

(事務局)

12ページでも若者・高齢者問わず「各団体への支援を進めていく」といった施策の充実といった形で想定してはいるところですが、子どもと高齢者のふれあいの推進というテーマにつきましてはかなり興味深い内容ですので部会の方で検討していきたいと思います。

(会長)

第2章につきましてご意見がないようでしたら今日の質疑応答は終わりにさせていただきたいと思います。

(4) 甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略について

■事務局より甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明。

(会長)

総合戦略について委員の方から説明がありましたが皆様方からご質問やご意見が何かございましたら発言をお願いします。

(上條委員)

戦略の中の15ページのところについて、地域産業イノベーションの推進というところで、本市においては、木質バイオマスは潜在的に豊富に存在するにも関わらず、有効活用がなされていないというような旨の記載があり、戦略的な取り組みということで木質バイオマス発電施設というようなことを言っています。しかし、発電するとなると非常に大変な森林面積が必要になると思いますが、甲斐市の森林面積は、山梨県27市町村の中でも下から3番目くらいと非常に小さい。甲斐市にはバイオマス資源が潜在的に豊富にあると記載されていますが、本市近郊を含めてという記載にしなければならないのではないのでしょうか。

(事務局)

まさにバイオマス産業都市構造につきましては、甲斐市だけではなく峡北森林組合を含めた甲斐市近郊のエリアも対象とした木質バイオマスの活用となっています。

(会長)

上條委員の趣旨が伝わるような修正をご検討ください。

(事務局)

おっしゃるとおり、本市において木質バイオマスが潜在的に豊富というのは少し無理があることなので本市近郊も含めてという記載に訂正を致します。

(立澤委員)

中小企業産業振興について11ページ(ア)産業振興と雇用状況の改善というところで「振興支援策と同時に新しい産業振興策が市に求められています。」と記載があり、14ページの(ア)地域経済振興戦略の企画とありますが、今年4月に国からそういう条例を作るよう指示が出ているはずなので甲斐市でも中小企業の振興を含めた条例の制定をお願いします。まだ山梨県ではどこの市町村もその条例を作っておらず、また、認定も受けていません。甲斐市は他の市町村に先駆けて早急に準備をしているところではありますが、国から指定を受けて新規雇用や既存する中小企業への支援施策の助成に取り組んでいる最中だと思います。今後5年、10年以内には目に見える形で市の条例ができると思いますので、それを調べて記載して頂ければと思います。

(事務局)

基本計画素案の69ページの(3)～(5)で中小企業への資金支援や商工会との連携といったようなところで記載をさせていただいています。総合戦略につきましては16ページの重点的な取組というところで創業者の支援と言う形で一応拾い出しをしていますのでご理解をお願いします。

(立澤委員)

条例に関してはこれから現実味を帯びてくるものになると思います。まとめられるものなら、まとめて、次回の回答としていただければと思います。

(事務局)

商工会から要望が出ており、条例化についても県の動きを見ながら進めております。もう少し具体的なことになりましたら、総合計画の基本計画の中で謳っていきたいと思います。

(会長)

甲斐市の人口ビジョンについて、説明をお願いしたいと思います。

■事務局より甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンについての説明。

(会長)

何かご意見ご質問はございますか。

ご意見がないようでしたら、人口ビジョンと総合戦略につきましては以上で終了とさせ

ていただきます。本日の案件は以上となります。委員の方々の活発なご意見ありがとうございました。

6 第2次甲斐市総合計画基本構想（案）の市長への答申

（会長）

■答申書朗読

（事務局）

市長の方からあいさつをお願いします。

（市長）

大変長時間、7月から4回にわたって審議をいただき、ありがとうございました。産官学金労言の様々な立場からのご意見を取り入れることが出来ました。引き続き基本構想に掲げた目標を実現するために、基本計画についてご審議を行いますのでご協力をお願い申し上げます。

人口の増加を山梨県の方でも希望するところであり、甲斐市は現在74,890人と昨年に比べて増えています。今後はそう伸びないにしても横ばいをできるだけ長く維持できればと考えております。

先日、国民健康保険関係の調査の中で、甲斐市は5～6つ程悪い診断を受けました。50歳代の方たちの喫煙者が全国平均と比べて甲斐市は断トツで多いですか、1日3合以上お酒を召し上がる方が多いとか、一日に30分以上継続して運動する人が少ないとか、食生活含めた日常生活において、健康意識が薄い方が多いとか、健康審査や栄養指導に行く人の割合が低い等、人口を伸ばしていく上で障害となるのではないかと懸念しております。

しかし一方、昨年のたばこ税は5億6千円にもなったということで、たばこを吸うのは控えていただいて、でも、タバコを買うのは甲斐市でお願いしますとお話しております。

お酒に関してもさつまいで特産品を作るということで、3年程前から焼酎を作り始め、全国コンクールでも25本中3位で、味いにコクがあり、香味バランスよしというような高い評価を得ております。しかし、1日3合以上の方が多いとなると国税になってしまうお酒よりはたばこを買ってもらった方がよいかとも思っています。税も大切にしながら健康を考えなければならぬかなと考えているところであります。

また、色々なご意見を参考にさせていただき、健康でよりよい甲斐市を作っていきたいと思っておりますので今後ともご指導よろしく申し上げます。

7 そ の 他

(事務局)

事務局の方から今後の予定を報告させていただきます。次回の審議会につきましては11月の下旬から12月の中旬にかけて予定しております。また、年内にもう一度開催させていただく予定を組んでおりますので、お忙しいとは思いますがご協力をお願い申し上げます。

8 閉 会

(事務局)

それではこれを持ちまして第4回の甲斐市総合計画審議会を閉会と致します。